

記入例 (4) 新規に特別徴収を始める場合

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

小林市 長殿		所在地	〒886-8501 小林市細野300番地		年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 旧年度
令和●年●月●日提出		フリガナ	コバヤシゼイジムシヨ		特別徴収義務者 指定番号	123456		
(特別徴収義務者)		氏名又は名称	小林税事務所		宛番号			
		個人番号 又は法人番号	9 9 9 9 9 9 8 8 8 8 7 7 7 7		所属	小林税事務所 総務課		
		フリガナ	ホソノ イチコ		担当 担当者名			
		氏名	細野 一子		電話	0984-23-0115		
		生年月日	M・Y・D 02年5月5日生		新規特別徴収開始の場合は記載不要			
		個人番号	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 1 2		(ア) 特別徴収年税額 (年税額)	12,000		
		受給者番号	987654		(イ) 徴収済額	□ 月から □ 月まで		
		1月1日現在の住所	小林市細野9000番地		未徴収税額 (ア)-(イ)	□ 月から □ 月まで		
		異動後の住所	小林市細野11000番地		異動年月日	令和●年 1 月 29 日		
		異動理由	1. 新規特別徴収開始 2. 退職 3. 転勤 4. 休職・育休・長欠 5. 死亡 6. 支払小額・不定期 7. 合併・解散 8. その他		異動後の未徴収税額の徴収方法	1. 新規特別徴収 10月分から開始 (翌月10日納期限分)		
■ 特別徴収継続の場合		特別徴収義務者 指定番号	● (新規) 法人番号		新しい勤務先へは、月割額 □ 円を □ 月分(翌月10日納期限分)から納入するよう連絡済みです。			
		所在地	〒					
		フリガナ						
		氏名又は名称						
■ 一括徴収の場合		理由		徴収予定日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した金額は □ 月分(翌月10日納期限分)で納入します。		
		1. 異動が令和●年12月31日までで、一括徴収の申出があったため		月 日	円			
		2. 異動が令和●年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため						
■ 普通徴収の場合		理由		※市町村に記入欄				
		1. 異動が令和●年12月31日までで、一括徴収の申出がないため						
		2. 令和●年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため						
		3. 死亡による退職であるため						

小林市から送付された税額通知書の指定番号を記入してください。

法人番号(13桁)、個人事業主は個人番号(12桁)を記入してください。

徴収方法「1」新規特別徴収を記入してください。

新規に特別徴収を何月分から開始するかを記入してください。例の場合は、10月分(11月10日納期限)からとなります。

普通徴収(個人納付)の方法で何期まで支払済みかを記入してください。
※普通徴収は全4期(4回で納付)となります。

※この届出書は、新しく特別徴収を開始する場合に提出してください。